

シンポジウム 「DX時代の情報管理と人材育成：ライブラリーサイエンス専攻の挑戦」

上山, あゆみ
九州大学大学院人文科学研究院： 研究院長

岡崎, 敦
九州大学大学院人文科学研究院

石田, 栄美
九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

富浦, 洋一
九州大学大学院システム情報科学研究院情報学部門

他

<https://doi.org/10.15017/6757889>

出版情報：2023-01-11. Department of Library Science, Graduate School of Integrated Frontier Sciences, Kyushu University

バージョン：

権利関係：



九州大学大学院 統合新領域学府
ライブラリーサイエンス専攻



九州大学文学部

シンポジウム「DX時代の情報管理と人材養成 —ライブラリーサイエンス専攻の挑戦—」

2023年1月11日(水)
九州大学伊都キャンパス イースト1号館C-203会議室



九州大学

情報ガバナンスとEBPMの射程

九州大学大学院法学研究院政治動態分析講座
大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

大賀 哲

toga@law.kyushu-u.ac.jp

シンポジウム「DX時代の情報管理と人材養成
ーライブラリーサイエンス専攻の挑戦ー」

2023年1月11日



九州大学



ライブラリーサイエンス専攻
九州大学大学院 統合新領域学府

1. 私の問題意識
2. 現状分析—EBPMの課題
3. 研究と政策
4. 大学（図書館）の新しい役割

1. 私の問題意識

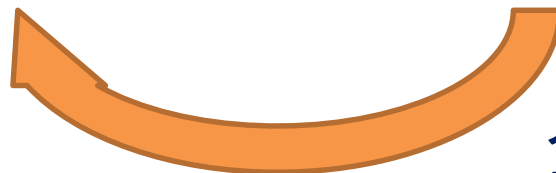
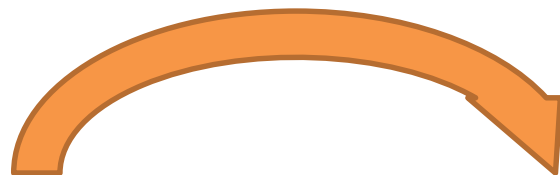
☞DX時代の情報管理とは？
(岡崎教授のまとめより)

1. Society5.0時代のデジタルデータ管理における、多面的アプローチの必要性
 - ①ビッグデータの活用
 - ②イノベーション創出
2. 情報ガバナンス：内部統制とオープンデータとの両立
 - ①オープンデータ
 - ②情報ガバナンス
3. 大学における情報管理とオープンデータ
 - ①オープンサイエンス
 - ②情報公開・共有の主体としての大学

1. 私の問題意識

DX時代の情報管理とは？

データ活用
オープンデータ
オープンサイエンス



イノベーション創出
情報ガバナンス&リスク管理
オープンガバメント&産学連携

1. 私の問題意識

☞私の問題意識

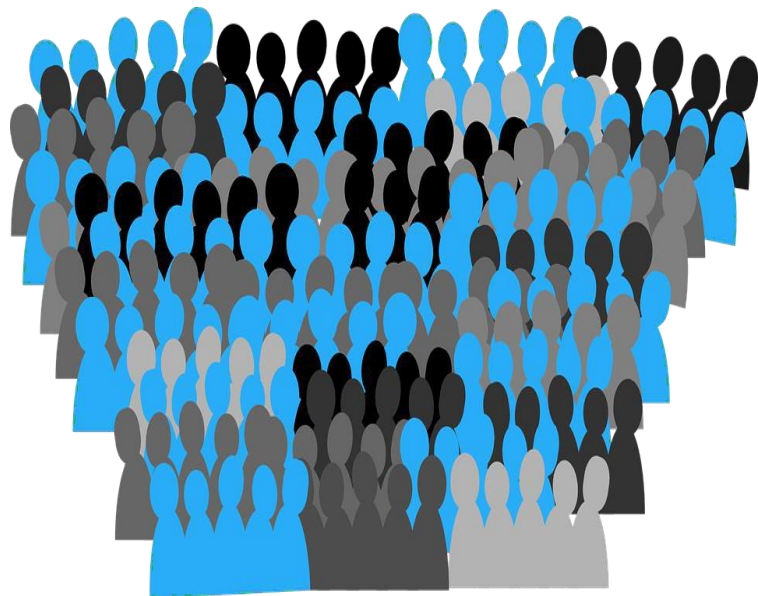
【1】（インプット／アウトプットの精度を高める方法はいろいろあると思うんですが…）インプットとアウトプットの連携を考えたい

- ①インプットとアウトプットのバランスを調整するのが情報ガバナンス
- ②インプットを高めればアウトプットも良くなるという謎の信仰

【2】政府／行政／公共政策という領域

- ①社会の他セクターから見て恐ろしいほど非効率
- ②DXで何か変わりますか？
- ③知のアーカイブとして大学ができることは？

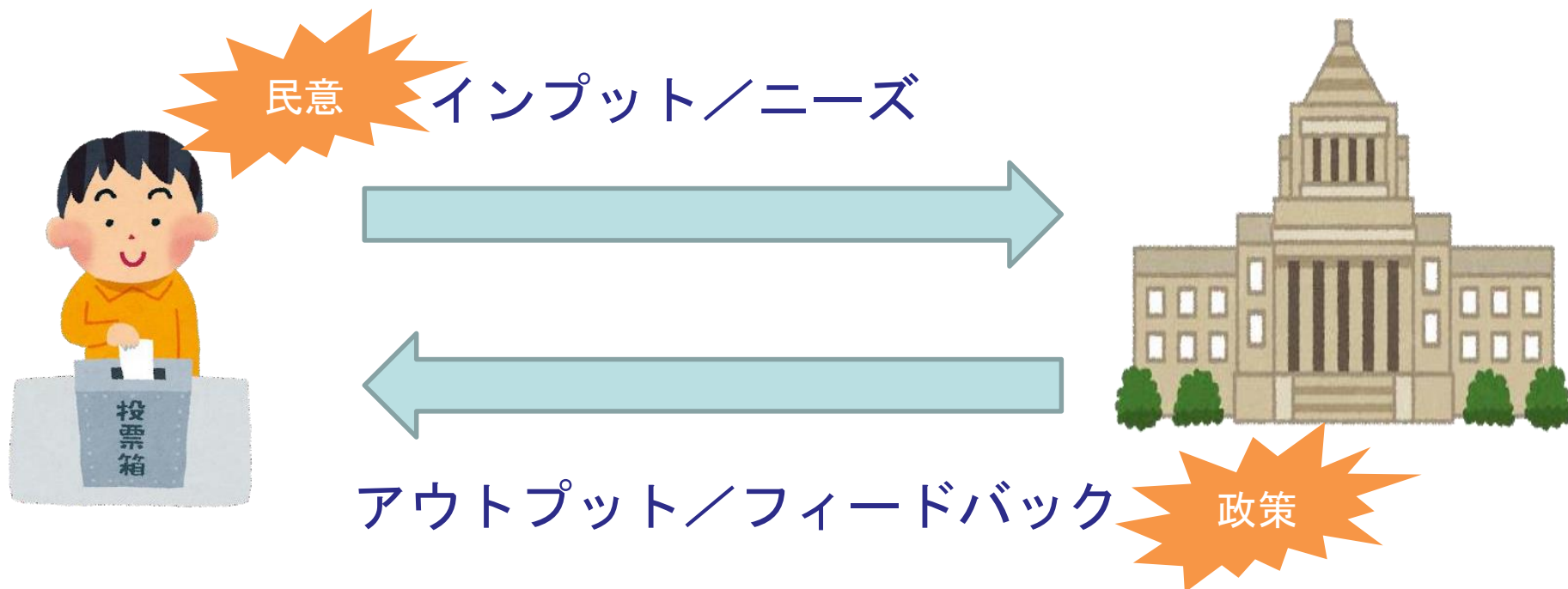
政治の仕組み



- 民意というデータを集めて（インプット）
- 政策に変えていく（アウトプット）

インプット・アウトプットと考えたときに政治の仕組みってどうですか？

2. 現状分析—EBPMの課題



- ・選挙が3～4年に1回ある
- ・選挙区ごとにしか投票できない
- ・候補者にしか投票できない(政策ごとに投票できない)
- ・民意を汲み取る粒度が粗い

たとえばECサイト (Amazon・・・)

Prime Video: あなたにおすすめの映画・TV番組
007 / スカイフォール (字幕版)



007
スカイフォール
SKYFALL
007

今すぐ観る

Kindle Unlimitedで200万冊以上の本を読もう



今すぐチェック

人気のAmazonデバイス



Fire HD 10



Echo Show 5 Fire TV

Kindle

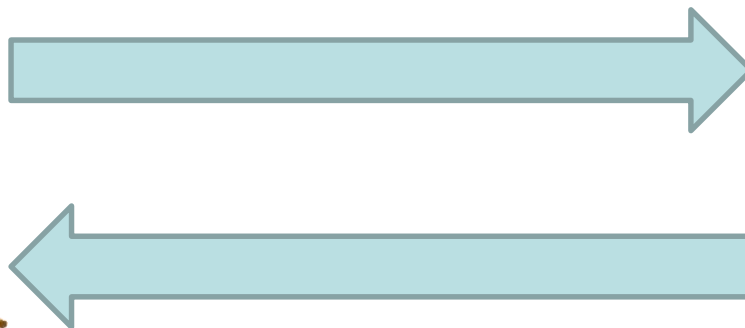
Amazonデバイスのストアを見る

本のおすすめ商品



たとえばECサイト（Amazon・・・）

インプット／ニーズ



アウトプット／フィードバック

たとえば教育現場



2. 現状分析—EBPMの課題

たとえば教育現場



インプット／ニーズ



アウトプット／フィードバック



2. 現状分析—EBPMの課題

☞ 比較してみると...

インプット→アウトプットの循環



【ビジネス】数秒～数日

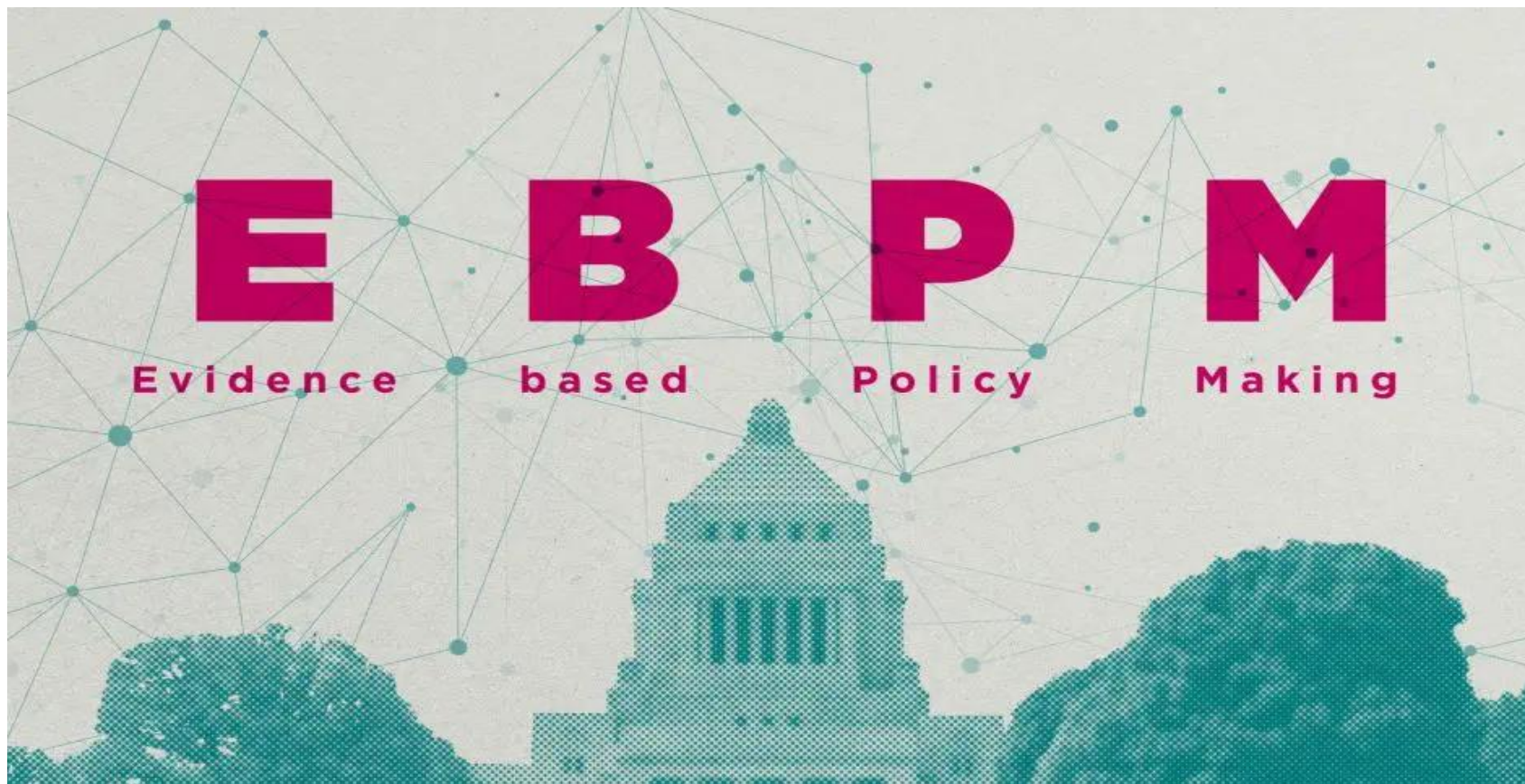


【教育】数日～数週間



【公共政策】3～4年に1回！！

👉そこで登場！EBPM



☞そこで登場！EBPM

- OpinionBPM
- 土地勘BPM
- 経験BPM
- たまたま上手くいった事例BPM



Evidence Based Policy Making

でも本当に上手くいってますか？現実は？

2. 現状分析—EBPMの課題

👉そこで登場！EBPM

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/shicho/kocho/opinion/002.html>



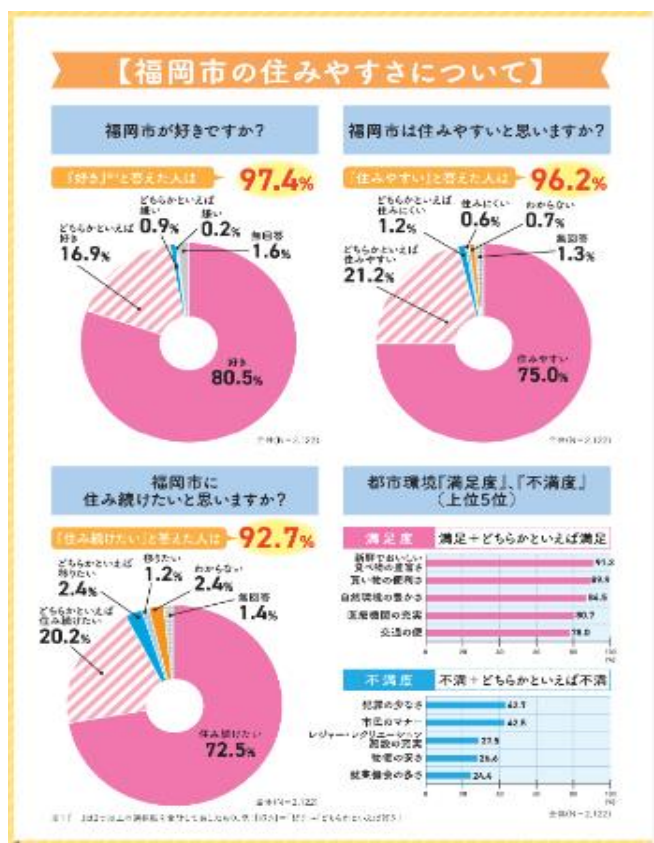
The screenshot shows the top navigation bar of the City of Fukuoka website. It includes a search bar with 'Google 提供' and a search icon, a link for 'サイト内検索について', and two red buttons for '防災情報' and '救急医療・消防'. Below the navigation bar is a horizontal menu with six categories: 'くらし・手続き', '子育て・教育', '健康・医療・福祉', '観光・魅力・イベント', '創業・産業・ビジネス', and '市政全般'. The 'くらし・手続き' category is highlighted in green. Below the menu is a section titled '調査結果等(特定テーマ)' with three survey results listed:

- 令和4年度 市政に関する意識調査
「生物多様性・博多湾」「生涯学習」
- 令和3年度 市政に関する意識調査
「博物館」「福岡・博多の伝統工芸品」
- 令和2年度 市政に関する意識調査
「福岡市の農林水産業」「障がいを理由とする差別の解消」

2. 現状分析—EBPMの課題

👉そこで登場！EBPM

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/shicho/kocho/opinion/002.html>



👉そこで登場！EBPM

PDF-BPM

二次利用できないPDFの山！！



☞ 結局、課題は何？

a) インプットの課題

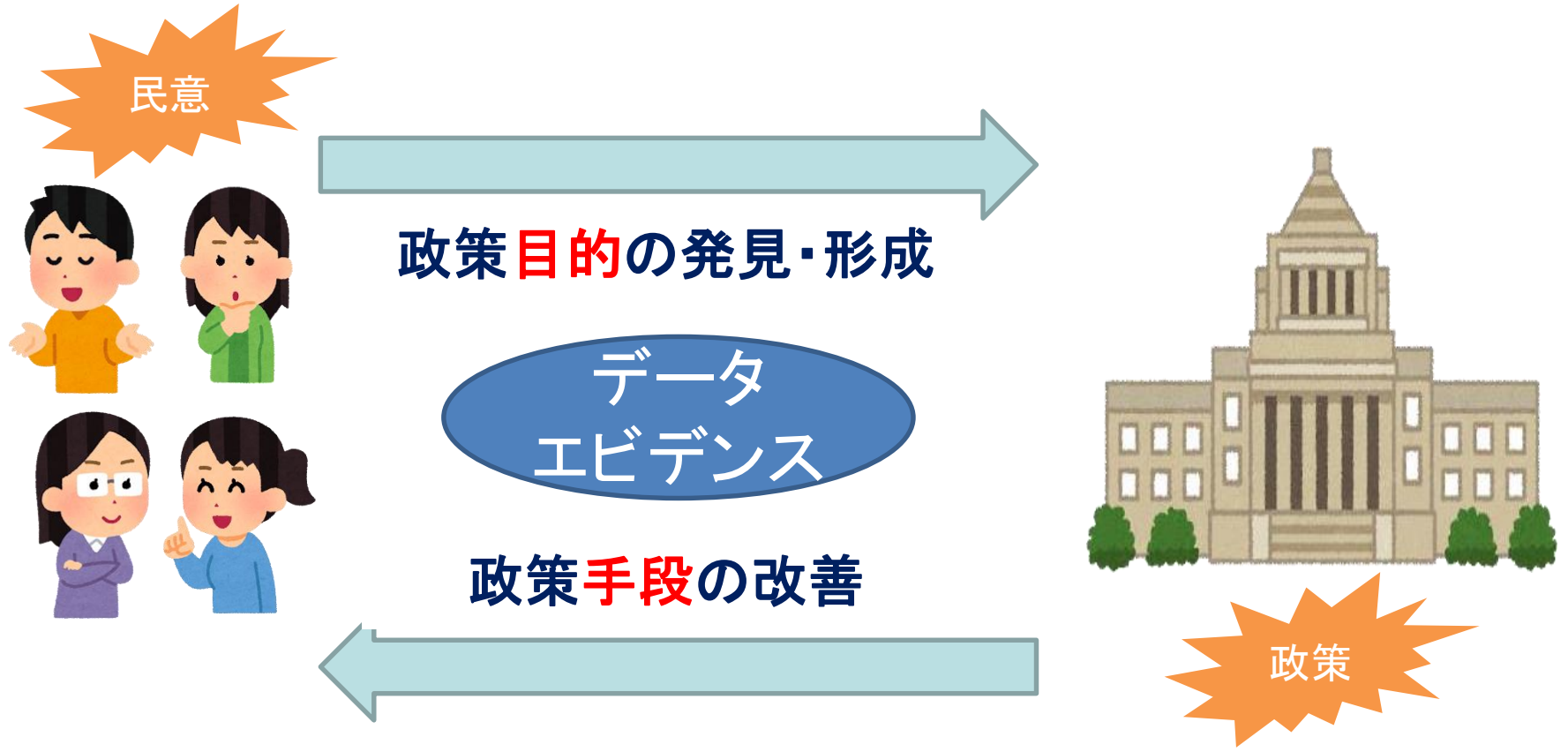
b) アウトプットの課題

これらを個別に解決したとして、2つは本当に結びつくのか？

☞ 研究と政策

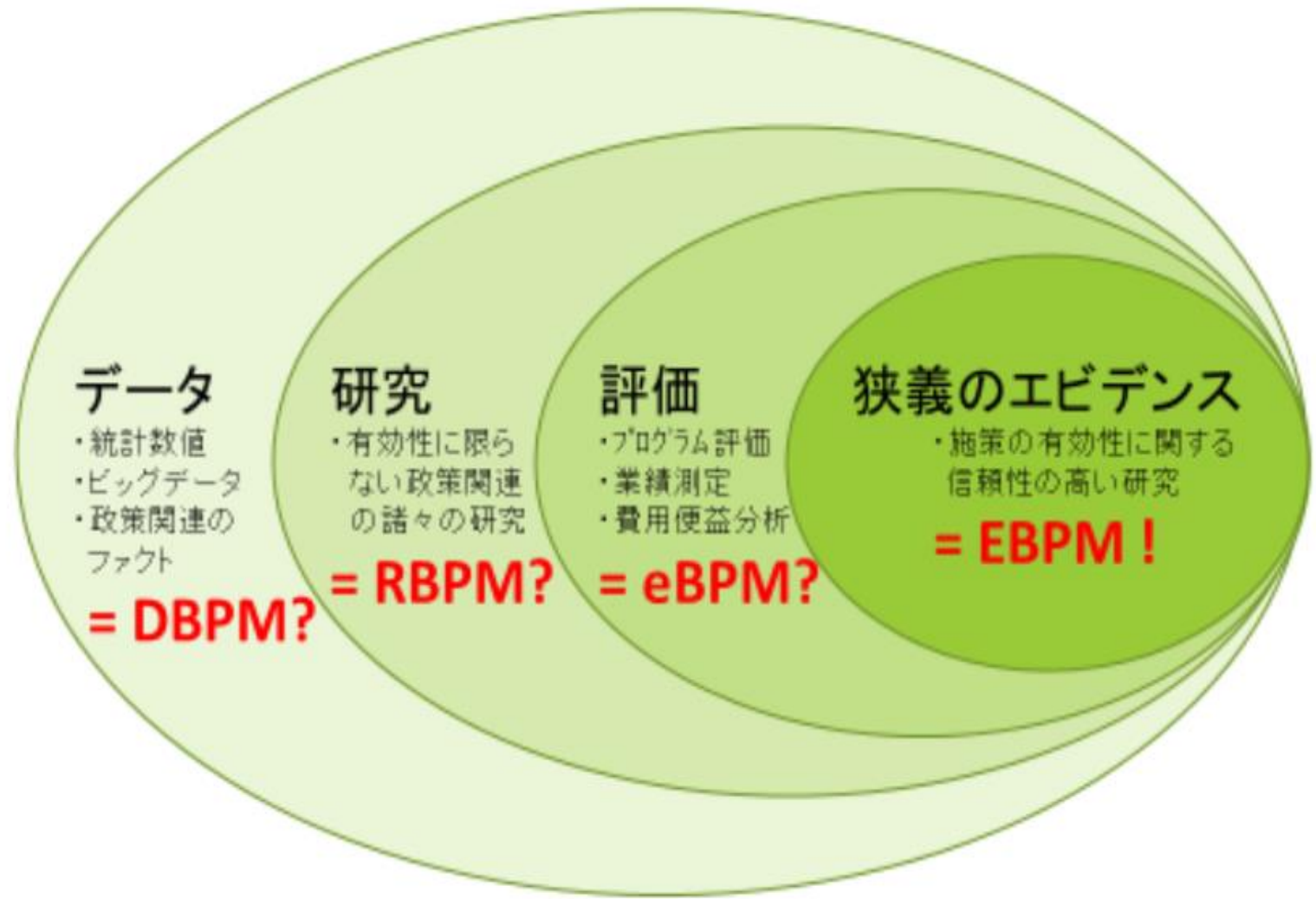
- アクターが多様 (e.g. お金みたいな単純なKPIを設定しにくい)
- 短期的な成果・評価と相性が悪い
- 放っておくとどんどんと蛸壺化・細分化したものができていく

3. 研究と政策



「目的探索型のデータ」があるのと、
「手段改善型のデータ」があるのは...研究も同じ

3. 研究と政策



3. 研究と政策



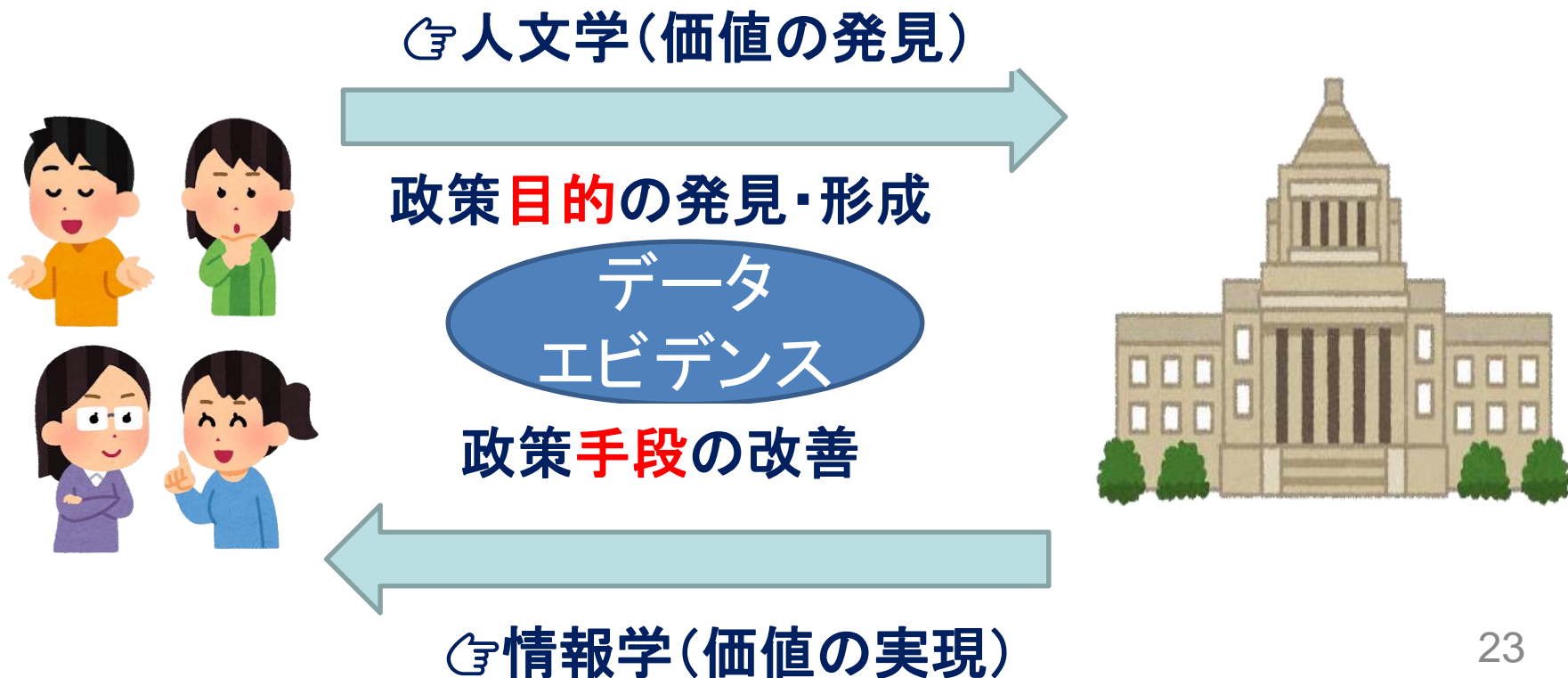
EB目的Mをすればよいのか？

「目的」を合意形成するプロセスが必要（4節に続く）

4. 大学（図書館）の新しい役割

人文学の役割？

- ・ 価値・規範の体系
- ・ 対話・合意形成・問題解決の歴史・ノウハウ



☞ひとつの可能性

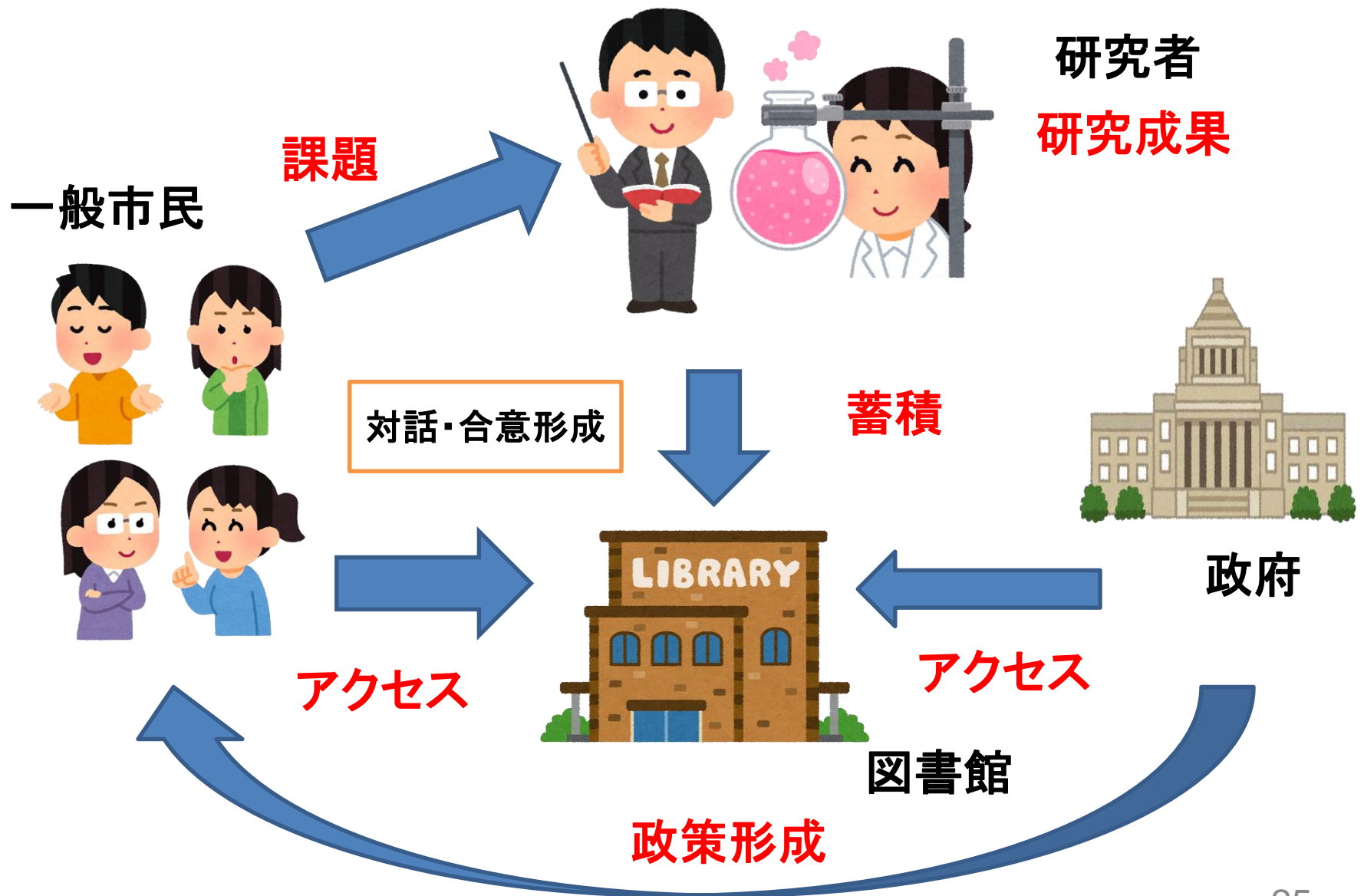
サイエンスショップ

シティズンサイエンス

コミュニティ・ベースド・リサーチ

- 地域住民が抱えている問題や疑問、課題を持ち込む
- 科学者や専門家が調査、研究
- 成果を公開（公共空間で共有）
- ヨーロッパ、アジア、北米などで類似の試み

4. 大学（図書館）の新しい役割



- 情報のインプットとアウトプットをどのようにつなげていくか
- 「目的探索型のデータ」と「手段改善型のデータ」
- 目的と価値をどう形成していくか（人文学の役割）
- 研究と政策をつないでいくアーリーナとしての大学（図書館）
- データ／研究／評価／政策をシームレスにつないでいくシステム

ご清聴
ありがとうございました

